



# ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校 後援会

## News

(145)

2022年3月1日  
発行  
ルーテル学院大学  
日本ルーテル神学校  
後援会  
編集  
推進委員会  
http://www.luther.ac.jp/  
〒181-0015  
東京都三鷹市大沢 3-10-20  
TEL:0422-31-4611  
FAX:0422-33-6405

### 「ご卒業おめでとう」ございます — 支えられる側から支える側に —

後援会 会長 小澤 周司



色彩豊かで多様な花々が咲き誇る春を迎えています。卒業される皆さんも、それぞれの学業を修められ、社会福祉や臨床心理等の専門性を身に付けて社会人として花を咲かそうとされています。今、社会では、皆さんの輝きと働きを待ち望んでいます。

二年以上にもわたる新型コロナウイルス感染症の影響は大きく世界を変えました。対面授業の機会が減り、オンラインによる遠隔授業の導入が、一挙に進みました。誰とも喋らず外出の出来ない日々や、マスクのまま距離を開けての着席、アクリル板越しの会話、そして黙食など、一人が苦手な人は勿

論、マイペースな人であっても満たされない気持ちを抱き、ストレスに悩んだことでしょうか。しかし、先が見えない中で曖昧さに耐える自立心や、孤独の中で自分を管理する自律能力については確実に鍛えられたはず。そして、皆さん一人ひとりが小さなキリストであり、隣人として仕え合うことが本当に大切であることを確信できたのではないのでしょうか。

後援会は、全国約百五十のルーテル教会とルーテル学院・神学校に理解のある方々がサポーターとなって、学校のため常に祈り、毎年約二千万円の献金を捧げ支援しています。新たに卒業される皆さん、そして既に卒業して活躍されている皆さんも、

### ご支援に感謝

学校法人ルーテル学院理事長 松澤 員子



一昨年来、新型コロナウイルスの感染が急増するという厳しい社会状況の中で、後援会の皆さまから今年度も日本ルーテル神学校とルーテル学院大学に多大のご寄付をいただきましたこと、心から厚く御礼申し上げます。また、

在学生の保護者の方々や卒業生の方々からもこの学院での教育に期待を寄せいただき、貴いご寄付をいただきました。さらに全国のルーテル教会の皆さまからはお祈りと共に献金をお送りいただきました。誠にありがとうございます。

ルーテル学院大学と日本ルーテル神

学校においては、石居学長と立山神学校長のご指導の下で、学生たちへのコロナウイルスの感染を防ぐためにオンライン授業を取り入れながら、キャンパスでの少人数の対面授業も行っておられるとお聞きし、私はルーテル学院の教育はコロナウイルスに負けてはいないと安堵いたしました。大阪在住の私はもう一年近く、三鷹キャンパスに出かけておりません。それでもオンライン会議、メールや電話で知る教職員の皆さまが、厳しい学校運営に励んでくださっていますことを皆さまにお伝えして、大きなご支援への感謝の言葉とさせていただきます。

どうか母校を支える後援会の働きに参加し、ご協力ください。いつも主の平安と導きがありますように。

2021年度  
(2021年4月～2022年3月)  
後援会 募金目標額  
**2,500万円**

・ルーテル学院への献金は寄付金控除の対象です。  
・税額控除制度をご利用いただくと、10,000円の献金で約3,000円の所得税が還付されます。

### ルーテル学院大学・ 日本ルーテル神学校後援会とは

ルーテル学院の設立母体である日本福音ルーテル教会と日本ルーテル教団諸教会の信徒運動としてスタートした、ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校を物心両面で後押しする団体です。教員や卒業生、学生保護者に限らず、学院を愛し、後援会の働きにご賛同いただける方はすべて後援会会員です。

### 古本募金「チャリボン」 始めました!

～あなたの読み終えた本が  
学生たちのために役立てられます～



- ①パソコン・スマホでお申込みください。  
https://www.luther.ac.jp/college/donation/charibon.html  
・お申込みはwebからのみ。  
・5冊から送料無料。  
・一度に集荷できるのは段ボール箱3箱まで。  
・買い取り対象となるのは、2011年以降に発行され、裏表紙にISBNコードがある本です。
- ②宅配便業者がご自宅にて集荷します。  
・段ボール箱などに梱包していただいた本をお渡しください。  
・伝票のご用意は必要ありません。
- ③買取相当額がルーテル学院に寄付されます。  
・通常10日～15日程度で「チャリボン」から査定額のお知らせメールが届きます。  
・メールに記載されている「受付日」の翌月中旬に「チャリボン」からルーテル学院に入金されます。

### 卒業生からの祝いメッセージ

#### 石居 賢

社会福祉法人 慈愛園乳児ホーム  
施設長 潮谷 佳男



二十七年前の当時、卒業を迎える前の三月には既に現場に入って新規立ち上げの業務所の準備をしていました。今でも覚えていますが、大学で使っていたノートを引っ張り出し、総復習して初めてのインテークに臨みました。緊張の中で利用者と対峙しましたが、話を進めるうちに何の緊張もなく仕事を終えることが出来ました。全て、ルーテルで学んだことを出すことが出来た結果だと思っています。

#### 一人ひとりを大切に教育

社会福祉法人 常務理事 石倉 智史



私は先生方、友人らを困らせてばかりの学生でしたが、そんな私に辛抱強く付き合ってくれ、私の悪いこと良いことを引き出してくれました。当時、悪いことを言われると拗ねているような人間だったので、今は自分の弱点を知る事が出来、その対応を教えてくれた皆様に感謝しています。自分に對し常に疑いを持ち、最高の援助を追

ご卒業おめでとうございます。様々な社会環境の変化や予期しない出来事が重なる中にあっても、こうして旅立ちのときを迎えられたみなさんに心からエールを送りたいと思います。先行きが不透明な今の時代、想像もできなかったことや「想定外」といわれていることが起こります。また様々

な困難な場面に遭遇することもあるかも知れません。しかし、その一方で予期しない素晴らしい出来事も起こりえると、私は確信をもって言い切れます。大学での学生生活は、友人、先輩、教職員のみならず、後援会の方々、地域の方々にも支えられてきたかと思えます。これは、一人ひとりを大切に、豊かな人間性を育むという教育方針を一〇年以上にわたって築いてきた賜物であり、その脈々と流れるルーテル学院大学の精神は卒業してもなお、深くみなさんの心に刻まれていくことでしょうか。私は今でも仕事などを通じて先生方や卒業生とのつながりが続いています。どんな時でも頼りになり、ともに泣き、笑う仲間がいるという安心感は何ものにも代えがたいものであると実感しています。大学での学びはこれで終わりとなりますが、社会での学びはこれからも続いていきます。予想もつかない時代ではありますが、どうか希望をもって歩んでいってください。そして、将来の卒業生へのエールも送り続けていただきたいと願っています。(キリスト教社会福祉コース卒業)